

診断士にいがた SOUP LETTER

発行／一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

第 14 号／平成 29 年 1 月

URL <http://www.n-smeca.jp/>

TEL 025-378-4021

FAX 025-378-4022

診断士の日とブランド化事業

一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

会長 中村 公哉



このたび一般社団法人中小企業診断のブランド化事業の一環として、診断士の日ならびにバッジの変更がなされました。

ブランド化は対象顧客が曖昧な状態では難しく、この事業の位置づけに関して、悩むところがありました。診断士の認知を高くするという事は、行政機関（特に国）との関係を良くし、我々の活動が行いやすくなるものと考えます。

バッジのデザインですが、下記のように診断士協会のホームページにて公開されています。今後全国的な動きに合わせて、新潟でも公式な場でバッジの着用を行っていきます。新潟県中小企業診断士協会の事務局に予備があるため、必要な方は貸与いたしますので、ご連絡をいただければありがたいです。

2016年スタート!



バッジデザインのコンセプトに関して、羅針盤をモチーフにして、シンプルかつ重厚で、長く身に着けていても古さを感じさせないようにデザインとなっています。羅針盤は、中小企業の輝かしい未来を指し示す「中小企業診断士の使命」を表現しています。また、主に直線で構成された図柄は、「ぶれのない誠意」を表しています。シャープなイメージは若々しく、そして、斬新すぎることがない、愛着を持って身につけられるデザインとなっています。

個人的には、少し大きさが大きく、他団体のバッジと均衡がとれないことが難点と感じておりますが、会長自らつけてまいります。

中小企業診断士の日ですが、全国の診断士協会が一斉に広報事業を行う事になっており、初年度であり新潟県診断士協会内での事業位置づけも曖昧な形になっているため、今年度は小規模での広報活動にとどまりました。11月2日・3日の2日間かけて、まちなかキャンパス長岡にて「経営力強化法とローカルベンチマーク」のセミナーを行いました。民間企業14社、支援機関2機関でローカルベンチマークを活用し、経営力強化法の申請ができるようにセミナーを行いました。本事業により中小企業の体力強化につながればありがたいと考えます。



理論政策研修実施報告

平成 28 年度中小企業診断士向け理論政策研修会が新潟グランドホテルを会場として9月3日土曜日 13:00~17:30 に開催されました。



開催挨拶をする中村会長

一般社団法人新潟県中小企業診断士協会中村会長の挨拶に始まり、新しい中小企業施策について「新潟県の産業・労働の現状と施策の展開」と題して講師に公益財団法人にいがた産業創造機構（通称NICO）企画チーム佐野省史氏の講演から始まり



NICO佐野氏講演風景

中小企業・小規模事業者の人材確保と育成支援として「地方創生時代の地域マネジメントと人づくり」と題して（株）ファーマーズ・フォレスト代表取締役社長松本謙社長の講演と「元気が一番J-ホールディングス・グループの戦略スタッフのやる気で続々と黒字均衡へ」と題してJホールディングス（株）取締役社長伊藤利彦社長から講演をして頂きました。



松本謙社長講演風景



伊藤利彦社長講演風景

第一部の中小企業政策に関してNICO企画チーム佐野氏から新潟県内を中心にした産業の現状から新潟県としての中小企業施策まで説明して頂き、新潟県の現状とその対策について理解を深めることができました。

第二部の中小企業・小規模事業者の人材確保と育成支援に関する講演を実際の中小企業の現場から具体的な取り組みについて松本社長と伊藤社長から講演をして頂き、実際の中小企業の現場での人材育成の厳しさや人材育成が成功した事例について具体的な内容を講演して頂き、今後の中小企業・小規模企業に対する支援について具体的な取り組み方法などを教授することができました。

例年通り、理論政策研修後には懇親会も開催され、一般社団法人新潟県中小企業診断士協会の会員・非会員の交流ができ、有意義な理論政策研修を終えることができました。

「診断士の日」セミナー開催

平成 28 年 6 月 24 日一般社団法人中小企業診断協会本部ではわが国の「中小企業診断士制度」が発足したことを踏まえて 11 月 4 日を「中小企業診断士の日」として制定しました。中小企業診断士制度は昭和 23 年に中小企業の経営・技術の遅れを克服するために中小企業庁で設置された制度です。平成 15 年からは国家資格として改正され多くの中小企業診断士が全国で活躍しています。

今年制定された「診断士の日」を基に各都道府県に設置されている中小企業診断士協会では 11 月 4 日の前後 1 週間でイベントの開催を一般社団法人中小企業診断協会本部では広く一般市民にも「中小企業診断士制度」の認知度向上と地域中小企業への周知活動として奨励しています。

この度「一般社団法人新潟県中小企業診断士協会」においても一般社団法人中小企業診断協会本部の意向を受けて、今年度経済産業省が「企業の経営状態の把握、いわゆる「健康診断」を行うツール（道具）として、企業の経営者等や金融機関・支援機関等が、企業の状態を把握し、双方が同じ目線で対話を行うための基本的な枠組みであり、事業性評価の「入口」として活用されることが期待されるもの」（経済産業省HP抜粋）として「ローカルベンチマーク」を取り入れた中小企業支援策が発表されたことを受けて「経営力強化法とローカルベンチマーク」と題して関係機関向けセミナーを一般社団法人新潟県中小企業診断士協会会長中村公哉が講師となってセミナーを開催しました。

「ローカルベンチマーク」とは本誌後半で詳しく記載しますが、6 つの財務情報（；①売上高増加率（売上持続性）、②営業利益率（収益性）、③労働生産性（生産性）、④EBITDA有利子負債倍率（健全性）、⑤営業運転資本回転期間（効率性）、⑥自己資本比率（安全性））と非財務情報として 4 つの視点（①経営者への着目、②関係者への着目、

③事業への着目、④内部管理体制への着目）といった 10 項目で中小企業の現状分析を行い、金融機関や中小企業支援機関と中小企業経営者と同じ目線で経営改善や経営の方向性について支援していくことを目的としたツールとなっています。



診断士の日セミナー風景

参加した関係機関に新たなツールである「ローカルベンチマーク」の策定背景から今年度制定された「経営力強化法」との関連からローカルベンチマークを活用した企業の自主性から方向性の示唆をローカルベンチマークでの手法や具体的にローカルベンチマークの作成方法の体験までを内容としたセミナーを開催しました。

「経営力強化法」と「ローカルベンチマーク」といった今年度経済産業省で制定された新たな中小企業支援の視点を理解する機会を今年制定された「診断士の日」に合わせて実施したことで、参加者からは今後の中小企業支援に大変参考になったとの評価と同時に中小企業診断士の役割や意義などについても再認識をして頂ける場が提供できました。

来年度以降も今年制定された「中小企業診断士の日」を 11 月 4 日の前後 1 週間の間で一般社団法人中小企業診断士協会では引き続き開催していきますので、会員各位様や関係機関様のご協力とご理解をお願いします。

製造業現場改善クラブ「5Sセミナー」

新潟県中小企業診断士協会では昨年に引き続き新潟県中小企業診断士協会主催、共催として公益財団法人にいがた産業創造機構（通称NICO）、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部中小企業大学校三条校、後援新潟県信用金庫協会で開催現場改善クラブ「5Sセミナー」平成28年度第三期生の講座（県央会場）を開催します。

開催日程は11月24日木曜日18:30～20:30、12月22日木曜日18:30～20:30、1月26日木曜日18:30～20:30に開催します。（11月分は修了）

内容は製造現場で必須の「5S」改善のステップとして①「5S座学習」②「インターバル期間中の改善」③「改善のための情報意見交換」④「これらを通じた人材育成」等に注力していきます。

「5S」は単に職場を綺麗にすることではなく、生産性向上につながる仕組み作りであり、5S活動を通じて人材育成まで進め、最終的には取引先からみた自社の経営能力の指標であることの理解を得るまでの学習を実施していきます。

同セミナーでは単に座学でのセミナーに留まらず、実際に製造現場での5Sの取組を実践すると共にもとに討議会や成果発表会まで総合的な観点から実施していきます。

講師として当協会会長中村公哉と副会長野水敏勝の2名を中心に製造現場に精通した講師が現場改善に向けた講義を実施して、セミナー成果を現場で活かせる内容となっています。



5S討議風景



成果発表会風景

平成28年第二期生の講座（長岡会場）は11月より長岡市中央公民館さいわいプラザ302教室で開催して製造業を中心に多くの参加者でセミナーを開催中です。12月・1月と引き続き開催して現場改善への取組を推進できる内容を提供していきます。

来年度の開催は今のところ未定ですが、昨年・今年第1回の開催を終え、参加者からは実践に役立つセミナーであり、人材育成や生産性向上などの成果が得られたとの高い評価をいただき、継続実施に向けた計画を進めています。

一般社団法人中小企業診断士協会ではこのように新潟県内支援機関と連携したセミナーや現場で役立つ講習会を継続的に実施していく方針です。中小企業支援機関や金融機関など中小企業者の育成を考えている機関がありましたら、気軽にご相談頂ければ、セミナーや講演内容に応じて専門性の高い会員を派遣して参加者に納得のゆくセミナーを開催していきます。

委員会報告

総務委員会

委員長 岡田 正博

総務委員会の上半期の活動としては、定時社員総会の開催と理論政策更新研修の準備（研修委員会の補助的役割）とその後の懇親会の運営がありました。ちなみに総務委員会は、定時社員総会のあとの懇親会、理論政策更新研修のあとの懇親会、新春講演会のあとの懇親会（新年会）の運営をしますので、仕事の半分は宴会の幹事みたいなものです。

定時社員総会は株式会社の株主総会みたいなもので、作成する資料も多くスケジュールもタイトです。ただ、こういった裏方仕事にはスポットライトが当たらないものですが、実は法人法の条文を調べなければならない場面もあり、それなりのおもしろさがあります。多分企業の総務を経験したことがある人にはわかる感覚だと思います。自分で作った招集通知が自宅に郵送されてくるとなんだかおかしい気分になります。総会では数年前までシナリオや想定問答集も作成していましたが、会長が自身の言葉で話す方針を取ったことと、総会において何も質問が出ないことが続いているため、ここ数年はどちらも作成していません。ですので、今なら総会で厳しい質問をぶつけるチャンスです。

理論政策更新研修は研修委員会が内容や講師の手配を行うことに対して、総務委員会では会場の手配や資料の準備等、そして懇親会の準備を行います。研修には普段はご無沙汰している諸先輩や非会員の方もいらっしゃるの、少し緊張します。まあ、今回も（知る限りでは）無事に終わって良かったです。

研修委員会

委員長 田村 博康



平素は、研修委員会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。H28年度も半年以上が過ぎました。研修委員会の活動も順調に進み当初の予定通りの進捗となっております。下半期も皆様のお役に立てるように活動してまいります。

【平成 28 年度上半期の活動】

研修委員会の上半期の活動は、①登録更新研修の実施（本年度は、初めて 9 月に実施）し、テーマは「中小企業・小規模事業者の人材確保と育成支援」としました。実務者から現場視点でのご講演をいただき、参加者の方からご好評をいただきました。関係者の皆様には、深く感謝申し上げます。②秋セミナーの実施（松之山温泉ひなの宿ちとせ、柳様に講演していただきました。）、③経営診断実務の実施（上越市の製造業。11 月 24 日に終了。）に取り組んでまいりました。

【平成 28 年度下半期の活動】

下半期の活動は、①経営診断実務の継続（11 月下旬に最終報告予定）、②研究会の活動報告会の実施（3 月中旬の予定）、③中小企業診断士受験講座の運営（10 月から開講しております。）、④来年度の更新研修のテーマ選定、に取り組んでまいります。来年度も更新研修会にご参加の皆様のお役に立てる内容にすべく、委員会のメンバーと議論してまいります。②の研究会の活動報告会の後には、会員の交流会も実施する予定にしております。各研究会の活動内容について、知る機会になるとともに会員同士の交流の場ともなっております。皆さまからの積極的なご参加をお待ちしております。

【最後に】

会員の皆様にとって有意義な活動を行いたいと考えております。ご意見ご要望など、お待ちしております。よろしくお願いいたします。

事業開発委員会

委員長 和栗 聖

平素は、事業開発委員会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。平成28年度の事業開発委員会は前年度から引き続き金融機関および中小企業支援機関との連携強化、認定支援機関活用による業務受託の拡大、国等が行う事業の受託を活動方針としています。平成28年度前半の主な活動についてご説明いたします。

1. 新潟県信用組合様との連携による「けんしんビジネスパートナーシップ事業」の開始

新潟県信用組合様と当協会において、新潟県信用組合様の取引先企業に対して、当協会会員を専門家として派遣を行う「けんしんビジネスパートナーシップ事業」を開始いたしました。本事業は取引先企業とディスカッションを交えながら現場改善に重きを置いた経営診断となっております。新潟県信用組合様および派遣実施済取引先企業のご意見をもとに改善を重ねて引き続き本事業の運営を行ってまいります。

2. 小規模事業者支援研修（見習研修）の実施

昨年度から引き続き小規模事業者支援研修（見習研修）を受託し、12月から2ヶ月間実施しております。この研修は商工会・商工会議所の経営指導員向けの研修であり、前半5日間の研修がすでに終了しており、研修参加者からは現場に即した実践的な内容であるとの意見を頂戴しております。

上記のほか、来春には製造業向け新入社員研修等を実施予定です。また、事業開発委員会では委員を随時募集しておりますので、ご興味のある会員はお気軽に私までお問合せください。会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

広報委員会

委員長 平塚 幸雄



今年度前半の広報委員会の活動として、5月に中小企業診断協会本部から依頼のあった同協会では会員向けに発行している会報誌「企業診断ニュース」の「こんにちは新潟県協会です」の投稿に対する

原稿執筆から始まり、第一回のSOUPLETTERの発行を進めるなど一般社団法人新潟県中小企業診断士の内外に対して広報活動を遂行してきました。

また、今年度から中小企業診断協会本部で制定した診断士の日（11月4日）の開催に関して、当初計画との差異が生じるなど、委員長職として失敗をするなど上半期であるものの、1年分の苦労がありました。新潟県中小企業診断士協会の関係機関などに対する広報活動の難しさや喜びが実感できる上半期を過ごさせて頂くことができました。

後半の活動に関しては、上半期の活動結果や反省点を活かして、更なる広報活動に向けて広報委員各位が協力し合って事業を遂行していきます。

下半期計画では1月・3月の2回のSOUPLETTERの発行を控えています。後半のSOUPLETTERでは新潟県中小企業診断士協会の金融機関や中小企業支援機関に対する取り組みやセミナー情報等会員各位に新潟県中小企業診断士協会の活動を紹介すると共に、協会会員の中小企業診断士としての顔以外の新たな魅力発信を心掛けて協会会員の紙面での交流が進むことを目的にした原稿内容に努めていきたいと考えています。

会員各位には突然の原稿執筆依頼等お忙しい中にご協力頂く場面が多々あるかと思いますが、その時は快くご承諾頂ければ幸いです。

新入会員紹介

銀山 敏行

このたび、入会させていただきました銀山敏行と申します。2016年10月に診断士として登録したばかりです。知識も経験も少ないですが、なるべく各種の勉強会などに参加し、研鑽に努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

勤務先は県内金融機関で、現在は関連会社のシンクタンクに出向しております。仕事では県内企業の経営者の方々からお話を聞く機会も多く、診断士の資格取得を通じて勉強したことが役立っていると実感する日々です。

今後は資格を活かし、経営支援などの実務をしていきたいと思っています。しかし、なかなか機会が少ないので、実務従事日数を充足し、資格を更新していけるかどうか不安なところです。

まだまだ駆け出しの若輩者ではありますが、よろしくお願いいたします。

長尾 彰久



はじめまして。8月の中小企業診断士登録を経て、このたび協会に入会させていただきました。

三条市で生まれ育ち、長岡市の自動車部品メーカーの情報システム子会社に勤務しております。米国工場

での駐在や東京での製造業向けERP導入プロジェクトなどを経験して、現在は親会社の生産管理システム構築に携わっております。

趣味はラーメン屋巡りです。特に燕三条系の大油が好きです。今年40歳になり、健康を意識して中油へシフトしなければと思いますが、つい大油や鬼油を注文してしまいます。県内には特色豊かなお店が多く、飽きることがありません。中小企業診断士の勉強を始めてから経営の目線でも観察するようになり、ますます興味深いです。

志の低い話ですが、私が中小企業診断士を目指した目的は会社から資格手当をもらうことでした。ところが、教材を買ったり受験や実務補習で東京へ行ったりで費用がかさみ、資格手当で支給される金額をオーバーしました。さらに、試験勉強中に会社の規程が変わり、中小企業診断士が資格手当の対象から外されてしまいました。

当初の目論見が外れ、完全自腹での自己投資となりましたが、自分の知識の幅が広がったことは確かです。これまで学んできたことを今後の人生に活かしてリターンを得ていきたいと考えております。現職では事業としての診断士活動は難しいので、何か地元の活性化につながる活動ができなにか思い巡らせています。

とは言っても、自分はまだ修業が足りず、中小企業診断士として社会のお役に立てるレベルではないと実感しております。協会の活動を通して、ぜひ皆様からいろいろと学ばせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

田中 智行



皆様、はじめまして。
この度、新潟県中小企業診断士協会に入会させていただきました田中智行と申します。
この4月に、転勤で新潟に参りました。新潟には、縁もゆかりもありませんで

したが、赴任後7か月が経過し、新潟の人の気立ての良さ、うまさぎっしりのお酒と食べ物、雄大な自然等々、日に日に新潟の魅力にはまっているところです。

現在は、政府系金融機関に勤務する企業内診断士です。勤続20年以上を経過しておりますが、その間ずっと中小企業に対する融資業務や中小企業政策に関連する業務に携わってきました。

また、平成14年に診断士登録して以降、前任地においても診断士協会に所属し、仲間の診断士と連携して企業診断や経営改善支援を行うとともに、研究会活動を通じて研鑽してきました。

新潟でも、早速、事業承継研究会や青年部に参加させていただき、レクチャーで色々なことを教えていただけてだけでなく、懇親会でも楽しい時間を過ごさせていただいております。

先日、職場の仲間で「第2回 42.195km 新潟リレーマラソン」に参加しました。仲間でタスキを繋ぎ、何とか制限時間内に完走できましたが、自己の力不足を感じるとともに、仲間の力の大きさ、ありがたさを感じました。これから、診断士活動においても、自己の知識・スキルを高めつつ、診断士協会の一員として、皆様にご指導いただきながら、協会のみならず、新潟県の中小企業・小規模事業者にもお役に立てるよう、微力ながら頑張っていきたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

阿部 哲也



みなさま、はじめまして。
この度、新潟県中小企業診断士協会に入会致しました、阿部哲也と申します。新潟県加茂市出身、昭和60年生まれ、31歳です。

現在は新潟市内で地域金融機関に勤めております。

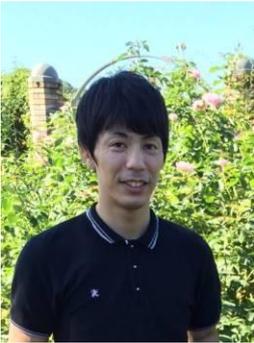
業務で多くの企業経営者の方にお会いする中で、金融以外の側面でも企業のお役に立ちたいと考え、中小企業診断士を目指しました。平成27年に1次試験に合格後、中小企業大学校への派遣を経て平成28年4月に診断士登録を致しました。

診断士としては未熟過ぎる自分を少しでも成長させたいと考え、協会への入会を決意しました。諸先輩方々から多くを学び、吸収し、繋がりを大事にしながら新潟の企業発展に貢献していくことを目指します。

趣味はサッカー及び最近覚えたての日本酒です。県内外の美味しい日本酒を日々探しています。皆様からは診断士としての知識やスキルはもちろんのこと、お勧めの酒も併せてご教授頂ければ幸いです。

ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

塚田 達沖



はじめまして。このたび新潟県中小企業診断士協会に準会員として入会させていただきました塚田達沖と申します。宜しくお願い致します。

出身地は上越市で、県外の大学に進学後、就職を機に新潟に戻りました。勤務先は長

岡の日本酒メーカー、朝日酒造株式会社です。入社後、営業部で内勤業務に従事し、現在は商品企画の担当者として仕事をしています。

中小企業診断士の資格に興味を持ったのは社会人になって3年が過ぎた頃でした。個人としてのレベルアップを目指す上で、幅広い領域について学べるという点で診断士は魅力的でした。また当時独身で仕事以外の時間に余裕があったことから、将来のために何かしなくては、という漠然とした焦りもありました。

現在は二次試験合格後の実務補習・実務従事に取り組んでおり、登録を目指しています。まだ診断士としての一人前には程遠く、これからも精進が必要です。

将来的には、診断士の資格保有が会社の仕事にもプラスになることが理想と考えています。試験勉強で取得した知識ももちろん役に立ちますが、成果に結びつけるにはより専門性を深めることも必要と感じます。最近では会社での仕事量が増え、こなすのがやっとのところもありますが、学んだことを少しでも生かしていきたいと思えます。そして診断士としてもできることから取り組み、少しずつでも成長を目指します。

未熟者ですので先輩会員の皆様より様々な面でご指導・ご鞭撻を頂きたく存じます。宜しくお願い申し上げます。

青年部活動報告

部長 樋口 圭治



今年4月より、青年部が活動を開始しました。その部長を務めさせていただくことになりました樋口です。よろしくお願いいたします。

あらためて青年部についてご説明させていただきます。今年度の活動方針を以

下のようにさせていただいています。

1. 部員相互の交流・情報交換の場とし、新潟県中小企業診断士協会の活性化を図る。
2. 新潟県中小企業診断士協会の新たな活動のアイデア（有志による勉強会、研究会・同好会の立ち上げ等）の発掘の場とする。
3. 2か月に1回程度の頻度で集まり、情報交換等を行う。
4. 会合等の場であがったアイデアの実現に向け、部員相互が協力する。

具体的には、これまで偶数月の第三土曜日の夕方集っています。そして30分から1時間程度、部員持ち回りで話をする人を決め、仕事でも何でも思うところの発表をしてもらっています。その後場所を変え、飲み会に突入しています。

4月にメーリングリストにて第一期メンバーを募集いたしました。ひとまず13名のメンバーで活動を開始しました。その後、新潟県中小企業診断士協会に新たに入会した方々などにも参加していただき、10月末現在では18名となりました。集まりにも、これまで毎回10人前後の人が参加していただいています。

青年部は随時入部を受け付けております。新潟県中小企業診断士協会会員として活動したいけど何をしたらいいかわからない、診断士同士何かコミュニケーションしたい、などなど考えている方、青年部に入ってみませんか？

特集 ローカルベンチマークとは

平塚 幸雄

ローカルベンチマークとは経済産業省が「企業の経営状態の把握、いわゆる「健康診断」を行うツール（道具）として、企業の経営者等や金融機関・支援機関等が、企業の状態を把握し、双方が同じ目線で対話を行うための基本的な枠組みであり、事業性評価の「入口」として活用されることが期待されるもの」として、今年度から採用された新たな診断ツールのことです。

地域の経済・産業の視点と個別企業の経営力評価の視点の2つから構成されています。地域経済・産業の視点では、地域の産業構造や雇用状況、内外の取引の流れ、需給構造などを把握して地域経済・産業の分析、各企業の地域経済に与える影響等の把握、重点的に取り組むべき企業の特定をしていきます。個別企業の経営力評価の視点では、「個別企業の経営力評価と経営改善に向けた対話」として、企業の過去の姿を写すものとして「財務情報」企業の過去から現在までの姿を映し、将来の可能性を評価するものです。後者の個別企業の経営力評価の視点に絞り、財務情報と非財務情報から企業の経営力や事業性を理解・評価する内容を紹介します。

財務情報として①売上高増加率、②営業利益率、③労働生産性、④EBITDA有利子負債倍率、⑤営業運転資本回転期間、⑥自己資本比率の6つの指標で企業の過去の姿を映していきます。1つ目の売上高増加率（ $(\text{売上高}/\text{前年度売上高}) - 1$ ）でキャッシュフローの源泉である売上高の変化を映し、企業の成長ステージの判断に有効な指標となります。2つ目の営業利益率（ $\text{営業利益}/\text{売上高}$ ）は本業の収益性を測る重要指標です。3つ目の労働生産性（ $=\text{営業利益}/\text{従業員数}$ ）は「従業員の単位労働時間あたり」の付加価値等で計測すべき指標です。4つ目のEBITDA有利子負債倍率（ $(\text{借入金} - \text{現金預金}) / (\text{営業利益} + \text{減価償却費})$ ）は有利子負債の返済能力を図る指標です。5つ目の

営業運転資本回転期間（ $(\text{売上債権} + \text{棚卸資産} - \text{買入債務}) / \text{月商}$ ）は必要運転資金の増減を把握するための指標です。6つ目の自己資本比率（ $\text{純資産}/\text{総資産}$ ）は安全性分析の最も基本的な指標となります。この6つの指標を過去の決算書を入力することで自動計算して以下の図のように財務情報が共用できます。



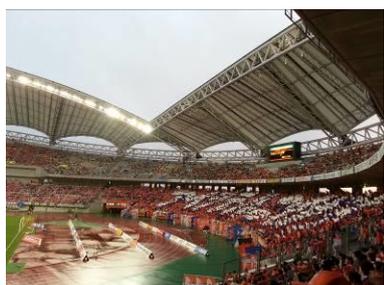
次に非財務情報に基づく分析では①経営者への着目、②事業への着目、③関係者への着目（企業を取り巻く環境）、④内部管理体制への着目の4項目に着目しています。1つ目の経営者への着目では経営者自身のビジョン、経営理念と後継者の有無について着目しています。2つ目の事業への着目では事業の商流やビジネスモデル、製品・サービスの内容、製品原価・市場規模・シェア、競合他社との比較・技術力、販売力の強みと弱み・ITの能力：イノベーションを出せているかの各項目に着目しています。3つ目の関係者への着目（企業を取り巻く環境）では、顧客リピート率、主力取引先企業の推移から従業員定着率、勤続日数、平均給与・取引金融機関数とその推移、金融機関との対話の状況について着目しています。4つ目の内部管理体制への着目では、組織体制に始まり社内会議の実施状況・経営目標の共有状況・人事育成システムに着目しています。

ローカルベンチマークでは従来の財務面だけでなく、非財務面の側面から企業評価をしてる点が大きな違いとなっています。

—経済産業省 2016年3月「ローカルベンチマークについて」説明資料から引用—

マイ・ホビー（私の趣味）

サッカー（アルビレックス）観戦



今回紹介するマイ・ホビーとして13年間応援観戦しているサッカーアルビレックスの観戦を紹介させていただきます。

アルビレックス観戦のきっかけは妻がアルビレックスの前身のアルビレオ時代からJ2観戦をしており、アルビレックスがJ1昇格と共に夫婦で観戦し始めたのがきっかけでした。

当初は土曜日の午後や時期によっては水曜日の夜に観戦することになり、正直「めんどくさい」と思いながら、「妻への罪滅ぼし？」も兼ねて一緒にビッグスワンスタジアムに通っていました。それが何年か経過していくごとに、いつしか本気で応援している自分がいました。

近年はホームではシーズンパスを購入して、後援会にも妻が入会し、年2～3回は近県のアウェイの試合の観戦もするほどになりました。今年の後半戦はJ1降格が身近に感じられ、最終節までもつれ、結果的にJ1残留を果たしました。昨年と2年連続での下位に終わり、来年度も不安要素が残っていますが、ビッグスワンに応援観戦に行くのが今から楽しみにしています。

協会会員の中にもサッカー観戦（特にアルビレックスの試合観戦）をしている方がいれば情報交換をしたいと考えています。気軽にお声掛けして頂ければお互いの趣味を分かち合える時間を過ごしたいと考えていますので（飲む機会を探しているだけかもしれませんが・・・）、お声がけをお待ちしています。

お知らせ

今年度から一般社団法人中小企業診断士協会本部では今年度から新たに11月4日を「診断士の日」として、本部を中心に全国各協会にて診断士の日を挟んで1週間の間を基準として、イベントやセミナーなどが開催されました。一般社団法人新潟県中小企業診断士協会では今回のSOUPLETTERにも記事として記載していますが、今年度経済産業省で策定した「ローカルベンチマーキング（通称ロカベン）」を「診断士の日」に開催して趣旨に賛同した多くの方々から参加して頂くことができました。来年度以降も11月4日を「診断士の日」として全国各地でイベントやセミナーが開催されます。新潟県中小企業診断士協会会員からもイベントやセミナー開催についてご意見やご要望があれば、広報委員会にて開催準備を進めていきますので、ご意見を頂ければ幸いです。

今回診断士の日で開催した「ローカルベンチマーキング」セミナーに関しては、今後も新潟県内の金融機関や支援機関などに対して積極的に開催していきますので、ご希望があれば、新潟県中小企業診断士協会に連絡をお願いします。

また、同じく今回のSOUPLETTERに記事を記載した新潟県産業創造機構（通称NICO）と協賛で実施しました「製造業現場改善クラブ」も毎年多くの参加企業で今年度も引き続き開催しています。参加企業からは「参考になった」、「有意義な研修であった」など高い評価を受けています。来年度以降も同様な研修セミナーを開催していきますので、今回は参加できなかった協会会員の企業様からも参加して頂ければ幸いです。

このように一般社団法人新潟県中小企業診断士協会では本年度の事業で開催した研修会やセミナーも来年度以降も開催すると共に、来年度以降も新たなテーマで研修会やセミナーを積極的に開催していきますので、協会会員からも参加して頂くよう宜しくお願いします。

編集後記

平塚 幸雄

今回の SOUPLETTER では委員会活動の中間報告や新入会員紹介を始め、一般社団法人新潟県中小企業診断士協会が主体となって進めているNIC Oとの共催事業の「製造業現場改善クラブ」の紹介や今年度から一般社団法人中小企業診断協会本部で新たな活動として制定した11月4日の「診断士の日」に対しての当協会で開催した「ローカルベンチマーキング」セミナーの様子を中心に掲載しました。

特に「ローカルベンチマーキング（通称：ロカベン）」は今後も中小企業診断士として活動する上で金融機関や支援機関などと支援企業との橋渡しや共通情報として必要不可欠なツールとなるものと考えています。以下に経済産業省のローカルベンチマーキング関係のホームページを記載しますので、皆様も1回決算データーを入力（2期分の決算書を入力）してみてください。自動で入力した企業の評価結果がでる仕組みとなっていますので、是非試してみてください。

ロカベン参考HP

http://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/sangyokinyu/locaben/

今回は今年度最終号となりますが、一般社団法人新潟県中小企業診断士協会の新しい情報や協会会員の紹介などを通じて SOUPLETTER が協会会員のコミュニケーションの場となるような記事を記載していきますので、お気づきの点やご意見などありましたら、広報委員会委員長の平塚までメール等 (hira1@dream.ocn.ne.jp) にて連絡の程、宜しくお願いします。

追伸：広報委員会では一般社団法人新潟県中小企業診断士協会会員様から委員を公募しています。お会いする度をお願いすることも多々あるかと思いますが、その節はご対応宜しくお願いします。

トピックス

新入会員紹介

入会日	氏名
4月1日	銀山 敏行 様
4月1日	塚田 達沖 様
10月1日	小林 正和 様
10月1日	長尾 彰久 様
10月1日	阿部 哲也 様
10月1日	霜田 久子 様

退会者

退会日	氏名
7月8日	古泉 英明 様

転入者

田中 智行 様

転出者

飯塚 以和夫 様

平成29年新春講演会ならびに新年会のご案内

1. 日時 平成29年1月21日(土) 15:00～
2. 会場 新潟グランドホテル
(新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地)
3. 新春講演会
講演テーマ「新潟県の経済動向」
日本銀行 新潟支店長 亀田 制作 様
講演テーマ「イラッときたら6秒待とう！」
アンガーマネジメントシニアファシリテーター 小松 弘美 様
4. 17:30～19:30 新年会